

一般会計予算 歳出

まちの借金返済額が
歳出の4分の1を占める

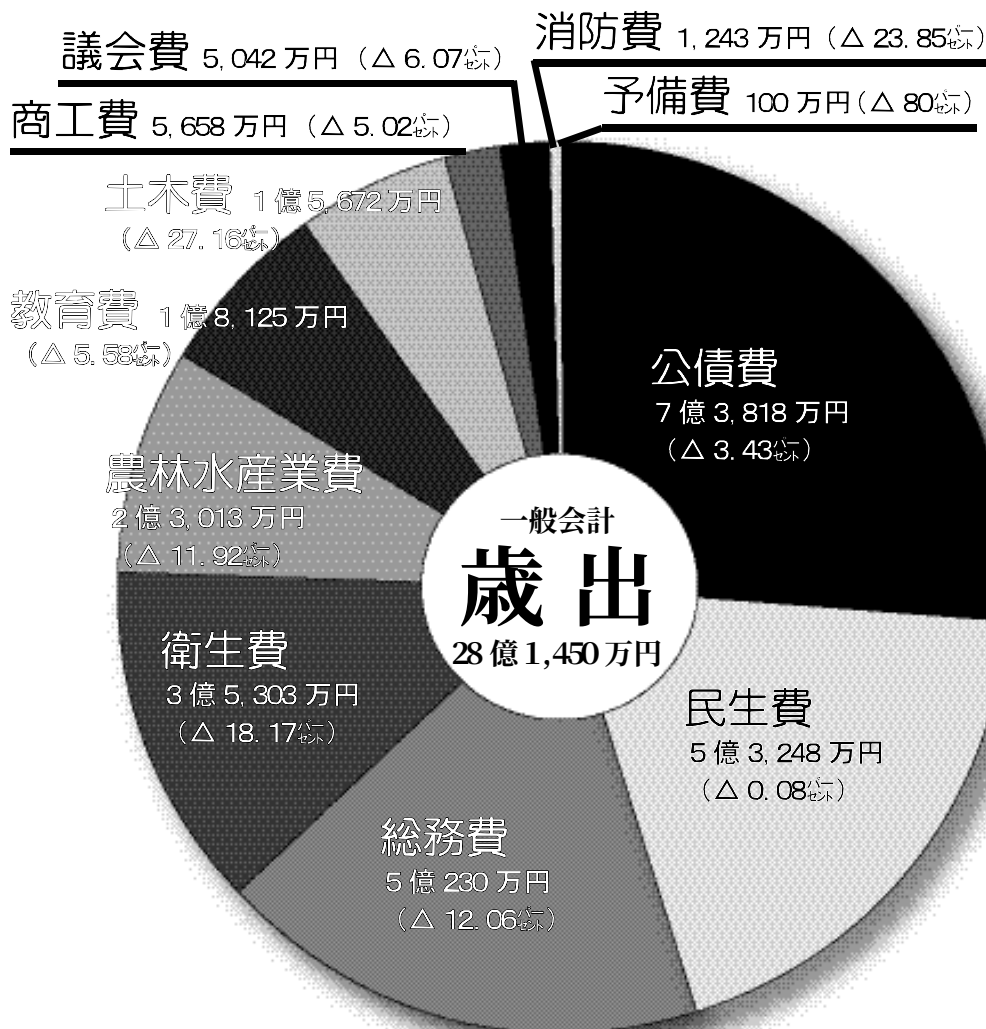
まちの平成19年度一般会計
予算の歳出（まちが支払うお
金）では、事業を行うために
借り入れた町債の返済金であ
る公債費に7億3,818万円
を計上しています。これは歳
出全体の26・22%を占めて
おり、昨年度の実績見込額よ
り約3割減少しているものの、
最も割合が大きく、町財政を
圧迫する大きな原因となって
います。

そのほか、福祉や健康づく
り、保育所運営などに使われ
る民生費を5億3,248万円、
全般的な管理事務経費や広報
選挙事務などに使われる総務
費を5億2,300万円としてい
ます。

また、予防接種や環境衛生
などに使われる衛生費を3億
5,303万円、農地保全、森
林整備などに使われる農林水
産業費を2億3,013万円、
学校教育、社会教育に使われ
る教育費を1億8,125万円
としています。

次いで、町道改良、除雪な
どを行う土木費に1億5,672
万円、中小企業への支援な
どを行う商工費に5,658万
円、議会運営を行う議会費に
504.2万円、町消防団、防
災センター管理などに使われ
る消防費に1,243万円をそ
れぞれ計上しています。

今年度の歳出予算は、昨年
度実績見込みに比べ大幅に減
額しています。詳しくは下の
グラフをご覧ください。



(カッコ内は前年度実績見込額との比較)

財政難の解消へ、さらに努力が必要

平成19年度一般会計歳出予算性質別集計表

(単位：千円、△減額)

科目	本年度	前年度実績見込 (3月補正後数値)	比較増減	対前年度比 (パーセント)
人件費	601,348	622,525	△21,177	△3.40
物件費	233,825	246,565	△12,740	△5.17
維持補修費	14,822	17,599	△2,777	△15.78
扶助費	153,620	144,524	9,096	6.29
補助費	549,330	659,478	△110,148	△16.70
普通建設事業費	43,810	187,137	△143,327	△76.59
災害復旧事業費	0	77,356	△77,356	△100.00
公債費	748,045	772,753	△24,708	△3.20
積立金	938	709	229	32.30
貸付金	53,567	53,625	△58	△0.11
繰出金	414,199	392,968	21,231	5.40
予備費	1,000	5,000	△4,000	△80.00
計	2,814,504	3,180,239	△365,735	△11.50

膨らむ累積赤字

3年後に4億8600万円

まちの平成18年度決算では、約1億2400万円の赤字が見込まれています。

昨年11月に開いたまちづくり説明会や、広報ひの平成18年12月号でお知らせした今後10年間の収支推計にもあるとおり、今後数年間累積赤字は増え続け、平成22年度には約4億8600万円の累積赤字の計上が見込まれます。

この背景には、まちが各種事業を行うために借りたお金の返済がピークに達していること、まちの収入の約6割を占める地方交付税が年々減少していることが挙げられます。

特別会計への繰出金も増加
事業実施に工夫を

また、まちの一般会計を圧迫している原因の一つとして、特別会計への繰出金があります。

す。繰出金は、国やまちの基準によって6つの特別会計に繰出すお金で、その額は年々増加しています。簡易水道、公共下水道事業、農業集落排水事業の3会計では、施設整備などの借入金返済時期がピークを迎え、また、国民健康保険、老人保健、介護保険の3会計では医療費などの給付費が増加しており、そのことが繰出金増加の要因になっています。

特別会計への繰出金を下げるため、まちでは公共下水道、農業集落排水への加入を促進したり、医療費を下げるため、介護予防や健康づくりに取り組むなど、さまざまな工夫をしながら事業を進めています。(特別会計予算は7ページをご覧ください)

いづれにしても、再建団体に陥ることだけは避けなければなりません。一丸となって財政建て直しに努力していきます。